



私たちは花が好き。緑が好き。人が好き。

園芸福祉ふくおかネット

No.46

2017年12月号

ネット通信 花 便 り



グリップキャンペーン 2017 ウェルカムガーデン 『ようこそ、秋色に染まる五感の庭へ・・・』

目 次

平成 29 年度『福岡市長表彰』受賞しました	P2
福岡市役所玄関花壇がきれいになりました！	P3
グリップキャンペーン 2017 ふりかえり	P4～P6
海の中道海浜公園「癒しのこけ玉体験」教室	P6
3 年目の福祉園芸体験事業	P7
特別支援学校で寄せ植えづくり	P8
園芸福祉の庭 ～テーマ花壇の植栽～	P9
初めてのオープンガーデンツアー	P10
事務局からのお知らせ	P11

平成29年度『福岡市長表彰』受賞しました

代表 谷口 博隆

11月2日(木)「平成29年度福岡市福祉のまちづくり推進大会」が福岡市民会館で開催されました。「ボランティア等功労者(永年にわたり、地域や社会福祉施設等においてボランティア活動や金銭・物品寄贈を行った功績)団体として、園芸福祉ふくおかネットが『福岡市長表彰』を受賞致しました。昨年は福岡市長から感謝状、福岡市社会福祉協議会会長から表彰状を頂きました。

これもひとえに会員みなさまが長年花や緑など植物をとおして、広く活動を続けて来られた賜物と思います。思えば園芸福祉ふくおかネットが平成16年(2004年)7月17日に設立して、今日までの長きに渡り多くの会員が、それぞれの地域や場面で園芸福祉活動を展開してこられた結果だと思います。

今回頂いた表彰を励みとして、みんなで花のまちづくりをより一層推し進め、心やすらぐ美しいまちづくり活動に取り組んでいきましょう。師走に入り寒さも厳しくなってきました。会員みなさま体調に十分留意して、戌年の新年を笑顔で迎えられるよう祈念いたします。



福岡市役所玄関花壇がきれいになりました！

代表 谷口 博隆

一般社団法人福岡市造園建設業協会より創立 30 周年を記念して、11 月 29 日(水)福岡市役所と議会棟の玄関花壇に会員や市職員、緑のコーディネーター、市民ボランティアさんと花を植えてきれいにします。その後の管理についてお話しがあり、現場の状況を見に行きました。天神中央公園側の市庁舎玄関両サイドと中央警察署の向かい側の議会棟の玄関花壇がきれいな花などで埋め尽くされています。この事業は 10 年間継続されるとのこと、とても素晴らしいことだと思います。

花壇の植え込みが終わって、式典があり高島市長から別府会長へ感謝状が贈られました。市民はもとより多くの外国からのお客様にもきれいな花壇を体感して頂き「アジアのモデル都市となるまちづくり」が花の力によりさらに大きく広がることを願うとともに、園芸福祉ふくおかネットの活動がより充実することを期待しています。



みんなで植付け



植付け完了



議会棟前花壇



高島市長より別府会長へ感謝状贈呈

グリッピキャンペーン ふりかえり

秋恒例『グリッピキャンペーン2017』10月14(土)・15日(日)
舞鶴公園(中央区)で開催されました。

スタッフとして参加

村口 照美

当日は雨となりましたが、会場の入り口には園芸福祉ふくおかネットのウエルカムガーデンづくりチームによる大きな苔玉がある癒される庭、『ようこそ、秋色に染まる五感の庭へ・・・』が作られていました。雨に濡れて大きな苔玉と緑の庭がとてもきれいでした。庭の中には、子ども達がビー玉で遊ぶエリアもあり、雨の中でも楽しく遊んでいました。

テントでは苔玉作りや種でお絵描き、多肉植物の寄せ植えなどが催され、多くの方が参加され楽しく作品を作られていました。私の小学1年生の孫も昨年から参加し、今年も楽しんでおりました。孫の作った作品を見て成長が感じられました。

その時の作品は大事に飾っています。今年のイベントでは、ハンギングバスケット作りも開催され、男性、女性問わず参加され思いおもいに作品作りに没頭されていました。



テント内イベント

あいにくの雨となってしまいましたが、多くの方々が参加され今年もとても良いイベントとなりました。来年も多くの方々に楽しんでいただけるイベントとなる様、私も尽力してまいりたいと存じます。

緑の恵み、園芸福祉ショップ

二俣 はるみ

会員の作品や農産物販売を通してお客様との交流を期待していましたが、あいにくの天候で来場者が少なかったことが残念でした。今回も工夫を凝らした作品や新鮮な農産物を求めやすい価格で、良い商品を自信をもって販売できることがうれしかったです。会員の作品としては寄木造りの鉢に多肉植物の寄せ植え・小石原焼の器に寄せ植え・ハーブ(石鹸・サシェ)・シーグラスクリスマスツリー等の出品がありました。興味をもって手に取る方が来られたら、製作者に correspond してもらい、お客様との交流が出来たかと思えます。作品の中には心惹かれるものがあり、最後まであったものを買入しましたが、担当者が購入しては「ちょっと目的から外れたな」との反省があります。

農産物については、一日目は曇り空だったので農産物目当てのお客様がボツボツこられて、里芋、米、さつま芋は早々に売り切れてしまい、あとはミカンで勝負という事になりました。

昨年は天気が良くて、ミカンを求める人が多くて、追加してもらおうほどでしたが、今回は気温が低く、商売は天候に左右されることを実感した二日間でした。

それでもお客様の中には「去年良かったから、今年も来たよ」と来店され、私たちのショップを楽しみにしている方がいることがわかってよかったです。

種でお絵描きを担当して

北野 多美子

今年は園芸福祉ふくおかネットの体験コーナー『種でお絵描き』を担当しました。コルクボードに木工ボンドで自由に思い思いの下絵を描き、その上に会員の皆さんの協力で集めてもらった花や野菜・果物などのいろいろな種類の種をボードに貼り付けて絵を描き、完成作品はお持ち帰りいただきました。昨年からの改良点として写真フレーム（2種類）を使用し、作品は飾ることができるようになりました。幼児・児童など小さなお子さんは、作品作りに取り掛かると戸惑われることも多いので、事前に会員の皆さんに作品を制作してもらい見本として掲示しました。

参加された方は作り始めると真剣なまなざしで作品づくりに夢中になり、親子、兄弟などで話し合ったりして作っている姿はとても微笑ましく、見ている私たちも笑顔になります。

今回は天気に恵まれず、子どもさんの来場がとても少なかった

ことが残念でした。会員の皆様に種の提供、見本用の作品づくりにご協力頂きありがとうございました。



進化する多肉植物の寄せ植え

山崎 博子

グリップキャンペーンでの多肉植物の寄せ植えも今年で5回目になります。これまでは針金をクルクルとまいて卵の殻を包み吊り下げるもの、会員がエコ鉢を作りその中に多肉の寄せ植え、卵の殻に多肉を植えて梱包緩衝材ウッドパッキンを使い巣ごもり風のものなど、試行錯誤しながら進化しています。今年は麻ひものマクラメ編みを実施しました。小さな卵の寄せ植えですが、卵の殻を集めてくれた方、マクラメ編みを作ってくれた方、多肉を育ててくれた方、多くの方々の知恵と、ご協力の賜物です。どこにでも釣り下げることができ、おしゃれ!

可愛い花も咲き、四季を感じる紅葉もあります。庭がなくても大丈夫、水やりは忘れた頃にあげても大丈夫。「緑の入門」者には最適です。

来年はどんなのが出来るのでしょうか。
いまから楽しみです!

